

平成27年の熱中症による救急搬送人員と気温の状況

平成27年6月から9月までの熱中症による救急搬送人員と気温の関係を見てみると、熱中症による救急搬送は、梅雨明け後から急増し、7月31日から8月7日まで8日連続で猛暑日を記録するなど、気温が高くなった日に救急搬送が多くなりました（図1）。

平成27年は関東甲信地方では6月3日ごろに梅雨入りし、7月10日ごろに梅雨明けとなりました（気象庁発表）。

※1 東京都のうち稲城市と島しょ地区を除きます。

※2 別添え資料中の気温、最高気温、平均気温、湿度、天気は気象庁の気象統計情報の東京で測定した数値等を使用しています。☀は、6時から18時の間「快晴」または「晴」

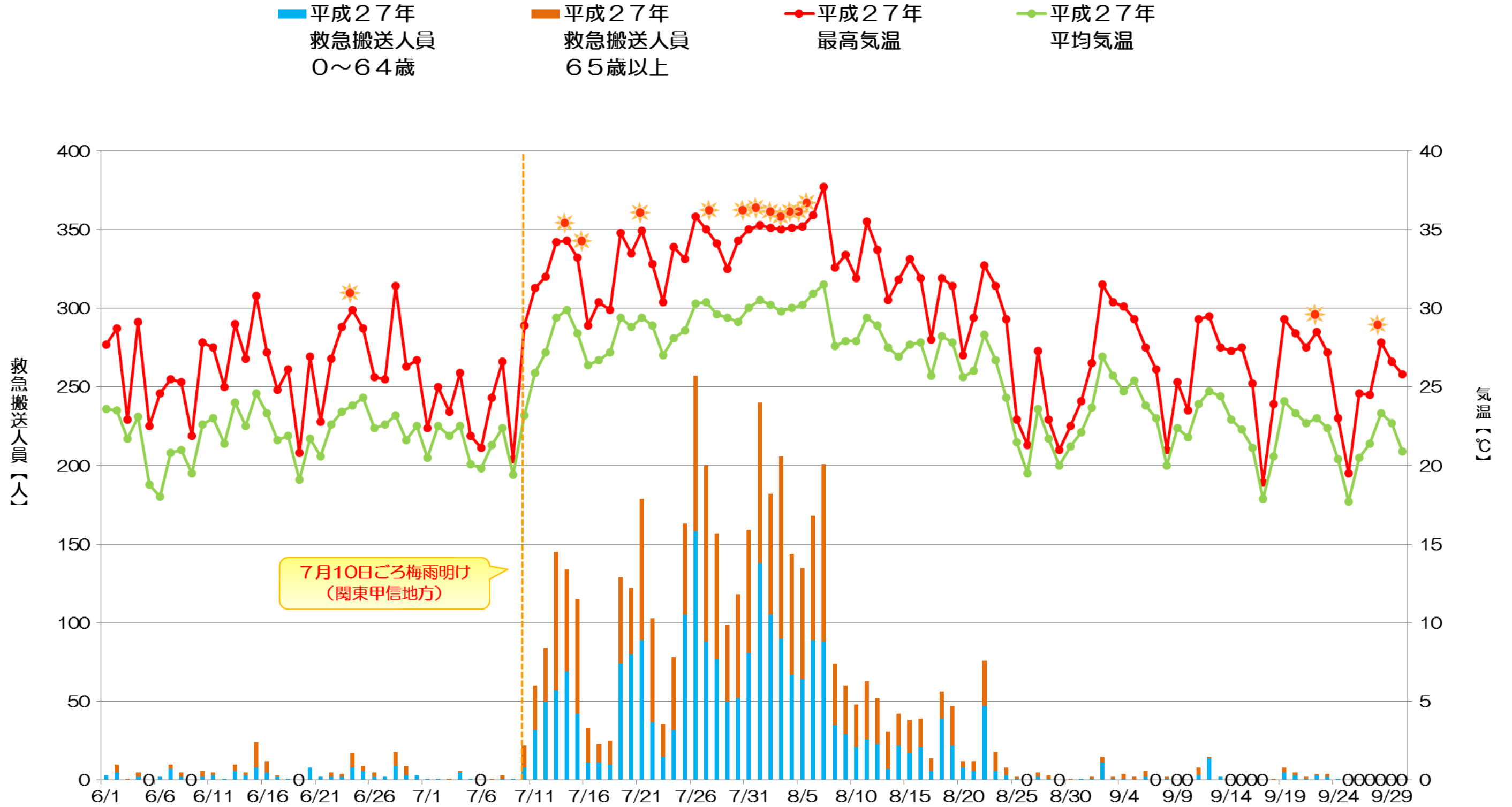


図1 熱中症による救急搬送人員と気温（平成27年6月～9月）